

(様式1) <b>平成17年度 事務事業評価表</b>					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2814
部 名	環境事業部	課 名	清掃総務課	課長名	廣田達夫
事務事業名	剪定枝資源化事業				
予算上の事務事業名	剪定枝資源化事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築			事業開始年度	
施 策 名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進			平成14年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	循環型社会形成推進基本法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	剪定枝資源化事業		ごみの減量化、環境負荷の低減を図るため、樹木剪定枝のリサイクルシステムを構築する。		
計画年次	平成14	年度～	平成17	年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
廃棄物の発生抑制に向けた取組みの一環として、剪定枝資源化施設を暫定整備し、公共施設から排出される樹木剪定枝を試行的にチップ等に破碎し、公園の雑草抑制のための敷材等として有効活用することを目的とする。			市の公共施設から排出される樹木剪定枝		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市の公共施設から排出された剪定枝を対象として、試験的にチップを公園等の敷材(マルチング材)として活用した。また、チップ以外の活用用途として土壌改良材や炭化の研究を進め、平成16年10月17日(日)には「リサイクルフェア2004」において、マルチング材及び土壌改良材を市民に配布を行った。また、資源化の目的の一つである「焼却によるダイオキシン類の発生抑制」のためには、市所管の施設から排出される剪定枝だけの資源化では不十分であり、市域内の国・県道や事業者などからの剪定枝についてもその対策が必要であることから、平成18年度以降の本格整備に向けた運営方法・活用方法等について研究を進めた。 リサイクルフェア2004での配布実績 マルチング材...500袋(計約1t) 土壌改良材...400袋(計約1.6t)					
6 関連・類似事業や他市の状況	県内ではモデル事業も含め7市1町で実施している。資源化の方法としては、マルチング材、土壌改良材、堆肥のいずれかであり、運営主体は公設公営の委託形式がほとんどで、財団法人や第3セクターが運営している自治体も一部ある。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	21,436	19,691	20,252	27,727	27,727
一般財源	21,436	19,691	20,252	27,727	27,727
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	29,826	27,701	28,322	35,797	35,797
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	剪定枝資源化事業		対象名称(単位)	処理量(t)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	29,826	27,701	28,322	35,797	35,797
対象数	118	1,128	1,186	1,188	1,500
単位あたり経費(円)	252,763	24,558	23,880	30,132	23,865
前年度比		0.10	0.97	1.26	0.79

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	チップ化量（t）		指標式と指標の説明	チップ化をした量		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	118.0	1,128.0	1,186.0			
目標	100.0	900.0	1,188.0	1,188.0	1,500.0	
目標達成度	1.18	1.25	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	資源化量（t）		指標式と指標の説明	資源化した量		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	118.0	1128.0	1008.0			
目標	100.0	900.0	1188.0	1188.0	1500.0	
目標達成度	118.0	125.3	84.8			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		環境負荷の軽減を図るとともに循環型社会を推進するためには、市所管の施設から排出される剪定枝だけの資源化では不十分であり、事業者や一般家庭などから排出される剪定枝についてもその対策が必要である。今後は民間活力の導入や他の資源化方法の可能性について検討していく。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 土壌改良材やマルチング材以外の資源化方法について研究を進めるとともに、市所管施設以外の事業所や一般家庭から排出される剪定枝の受入体制の整備と事業の一部民営化について検討する。			14 課題として認識されたこと 土壌改良材やマルチング材の活用先拡大など。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				